

入場無料・申し込み不要

シンポジウム

『妊娠、出産、子育てをめぐる こころの健康を考える』

日時

2018年12月2日(日)

12:30 開場 13:00 開演 16:20 終了

場所

武蔵浦和コミュニティセンター
9階 多目的ホール (定員150名)

さいたま市南区別所7-20-1



『妊娠・出産・授乳期の心の病気に 精神科医はどのように対処するか』

仙波 純一 (精神科医) さいたま市立病院・精神科部長

『周産期メンタルヘルスにおける「カウンセリング」の重要性』

松田 秀雄 (産婦人科医) 松田母子クリニック院長

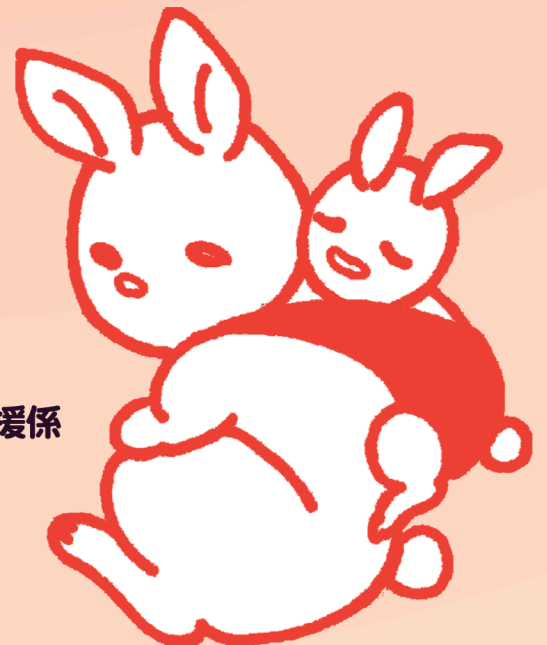
『地域クリニックにおける 母親たちへの支援の実際』

晴山 路子 (助産師) 松田母子クリニック看護師長

『地域における妊娠期から 子育て期にわたる支援の現状』

前場 有里 (保健師)

さいたま市保健所・地域保健支援課・親子すこやか支援係



主催 一般社団法人 埼玉精神神経科診療所協会
共催 公益社団法人 日本精神神経科診療所協会
後援 埼玉県／さいたま市／埼玉県医師会／
埼玉県精神科病院協会

市民講座のご案内

私たち埼玉精神神経科診療所協会は、お母さんになる方、お母さんになった方やご家族の方の「こころの健康」を支援しています。

また、関係職種の方々と連携し、協力し合い、「こころの健康」を推し進めるよう努力しています。

マスメディアやSNS等の発達によって、現代人は豊富な情報のシャワーを浴び続けています。同時に、個人の経験できることは以前に比べ非常に狭く、少なくなっています。この情報のるつぼの中では、実体験に乏しい現代人はその豊富な情報のためかえって不安が強くなり、時に混乱するという現象が起こりやすくなっています。

このことが、こころの問題を増加させている大きな要因になっています。

妊娠、出産、子育ては、以前は経験者である大家族や多くの隣人達に助けられ、自然で、心理的負担は少ないものでした。ところが現代では、核家族化が進行し、かつての支援はありません。主要な支援者になる機会が多いおじいちゃん、おばあちゃん自身も核家族の中で育った世代です。自分たちの子育てしか経験しておらず、経験のないさまざまな問題に対応することが難しい状況です。

私たちは専門家の立場から、お母さんになる方、お母さんになった方とその関係者を支援していきたいと思い、今回の企画をいたしました。

それぞれの分野から、妊娠、出産、主に新生児期・乳児期の赤ちゃんの子育ての時期に起こりうる様々な「こころの問題」と、それらに対する実際の支援、さらに、予防についてお話しいたします。また、現在の課題を関係者が共有し、新たに必要な協力を話し合い、考えたいと思っています。

これからお母さんになろうと思っている方、お母さんになろうとしている方、お母さんになった方やそのご家族、保健師さん・助産師さんなど専門職のみなさんや支援者の方々、ぜひ、ご参加ください。

これからこころのお薬を服用される方、こころのお薬に不安がある方も、ぜひ参考にされてください。

会場案内 (武蔵浦和駅西口から徒歩2分)



さいたま市南区別所7-21-1サウスピア9F
TEL 048-844-7215

お問い合わせ

ひがメンタルクリニック
窓口担当 花輪、池澤

〒330-0803

さいたま市大宮区高鼻町1-305

TEL 048-641-2133

FAX 048-641-6673